

カーヤこども食堂 活動報告書

開催場所 京都スパイスカレーKAAYA

参加費 こども 無料 / 保護者 300 円

開催日 2023 年 1 月

6 日、13 日、14 日、20 日、27 日、2 月 1 日

★6 日 14:00～17:00 「おやつのはかん」

おやつ 手作り (チョコスティックケーキ、焼きおにぎり、バニラクッキー、チョコクッキー、きなこのクッキー)、麦茶、カルピス

参加者 こども 11 名 保護者 1 名

★13 日 14:00～17:00 「おやつのはかん」

おやつ 手作り (チョコスティックケーキ、焼きおにぎり、バニラクッキー、チョコクッキー、きなこのクッキー)、麦茶、カルピス、みかん

参加者 こども 15 名 保護者 2 名

★14 日 16:30～18:00 「王将のお子様弁当無料配布とフード・パントリー」

参加者 こども 29 名 保護者の方 21 名

配布 カレンダー、みかん、お米、ビスコ、カルピスウォーター

★20 日 14:00～17:00 「おやつのはかん」

おやつ 手作り (メープルマフィン、焼きおにぎり、メープルクッキー、

チョコクッキー、きなこのクッキー)、麦茶、カルピス、キウイフルーツ

参加者 こども 20名 保護者 1名

★27日 14:00～17:00 「おやつのはじかん」

おやつ 手作り (メープルマフィン、焼きおにぎり、メイプルクッキー、

チョコクッキー、きなこのクッキー)、麦茶、カルピス、シュトーレン

参加者 こども 18名 保護者 3名

★2月1日 11:30～19:30 「カレーの日」 (予約制)

※1月25日開催予定も積雪のため2月1日に延期して開催

食事 チキンカレー、高野豆腐とわかめのスープ、麦茶

※卵、乳は不使用

ブックシェアリングを同時開催

配布 お米、キウイフルーツ、シュトーレン、白桃ゼリー、ブックサンタの本、

カレンダー、ハンドクリンなどの衛生用品

参加者 こども 24名 保護者 13名

ご支援 お米1合 x 2、お米10合、お米1kg、お米10kg x 12、雑穀米10kg x

2、アルファ化米炊き出しセット50人分3箱、アルファ化米50食、みかん10kg、

キウイフルーツ60個、ゼリー60個、ジュース2本、サラダ油、シャンプー、

高野豆腐1箱、パスタソース1袋、カップ焼きそば、ドリップコーヒー3袋、

お茶漬けの素 3 袋、お菓子 29 袋、小麦粉 3 袋、絵本児童書 27 冊、ライオン歯磨きセット 40 組、カレンダー 2 箱、生理用品 16 袋、ウレタンマスク 16 袋、液体ハミガキ 3 本、歯磨き粉 15 本、歯ブラシ 31 本、王将お子様弁当 50 食、カルピスウォーターミニ缶 50 本、寄付金 2 万円、バッジ 2 個 600 円

今月は店内飲食と持ち帰りをあわせて、延べ人数こども 117 名と保護者 41 名で合計 158 名の参加がありました。フード・パントリーでは、お米や果物、乾物などの食品、調味料、カレンダー、お菓子、ハンドクリンなどの衛生用品、ブックサンタの本を参加者に配布しました。

今月も、継続して食材などを支援してくださる個人のサポーターや、フードバンクと NPO 団体の方々、参加者によるボランティアにお世話になりました。伏見区の印刷会社、創美さんより 2 万円の寄付をいただきました。社会貢献活動に力をいれておられる会社で地域の清掃活動など SDGs の啓蒙もされています。同じ伏見区内のこども食堂という理由で、カーヤこども食堂をご支援くださいました。

NPO おてらおやつクラブさん、NPO チャリティサンタさんと新たにつながることができました。それぞれお菓子とこども向けの本を送っていただいています。活動の形は違えど、こどものためにという志のある方々の存在に励まされます。

今シーズンはインフルエンザが流行しており、学級閉鎖や、本人や家族、友達に感染したエピソードを頻繁に聞きます。引き続き自分たちの感染対策に努めるとともに、スタッフも参加者も体調が悪いときはこども食堂の参加を見合わせるなど、周りの人に移さない対策もお願いします。

月末には、10年に一度と言われる寒波が襲来し、京都市内も10cmを超える積雪が観測されました。路面の凍結や屋根からの落雪の危険があったため、25日に予定していた「カレーの日」を延期することにしました。予約制で実施しているため、参加予定の方には全員事前に連絡することができ、大きな混乱もなく翌週に無事開催することができました。カレーの日を楽しみにしているこどもたちには、延期になってしまうことで残念な気持ちにさせてしまいましたが、結果として来られない人が出ずに済んだので、安全を優先した判断ができてよかったと思います。またこの時に、日頃からこどもたちがどれだけこども食堂を楽しみにしてくれているのかを改めて聞くことになり、活動を続けていくことの大切さを実感しました。

カーヤこども食堂運営委員会

木村